

平成 28 年 4 月 (第 1 回) 理事会概要

会議に先立ち、ウッドバッジが福住 洋美(流山3)に、リーダートレーナー委嘱状が山下すみ江(東金1)に、23WSJ 日本連盟派遣団奉仕者章が理事会出席の該当者にそれぞれ授与された。

I. 審議事項(承認事項)

1. スカウト章認証
 - ・菊 章:鈴木 誠也(柏 7)、荒木 慎太(千葉 27)、永野 真衣(千葉 27)、小川 史門(千葉 27)、猫塚 渉太(千葉 27)、村上 真優(千葉 27)、千葉 翔平(八千代 2)、河本 直弥(八千代 2)、高橋 邦宙(八千代 5)、松沢 光太郎(佐倉 3)
 - ・隼章、富士章:なし
2. 技能章考査員の委嘱について
 - ・平成 28 年 4 月からの地区から推薦頂いた技能章考査員(総計 974 人)が承認された。
 - ・県下一括の名簿は各地区には配布しない。考査については県連盟コミッショナーと地区コミッショナーの連携で技能章考査員をスカウト(隊長)に紹介する形とする。
3. 平成 28 年度県連盟年次総会運営特別委員会について
 - ・担当地区(千葉地区)の地区委員長を委員長とする実行委員会を立ち上げた。
任期は平成 28 年 3 月 7 日から平成 28 年度県連盟総会にかかる事項がすべて終了するまで。
4. 南総地区 団担当コミッショナー斉藤 昇(館山 1)の辞任が承認された。
5. 南総地区 地区副コミッショナーに、野中美和(袖ヶ浦 1)の推薦が承認された。
6. 県連盟副コミッショナー青木 勇(茂原 2)の辞任が承認された。
7. 県連盟副コミッショナーに、斉藤 昇(館山 1)の推薦が承認された。
8. トレーニングチームディレクター、副ディレクターの推薦について下記の者が承認された。
 - ・ディレクター:鎌倉 恵子(野田 1)・・・重任
 - ・副ディレクター:小川 信一(船橋 3)、清水 美恵子(鎌ヶ谷 1)・・・重任 尾崎 陽二(松戸 5)・・・新任
9. “社会を明るくする運動”千葉県推進委員会構成機関・団体への加入について
 - ・千葉県推進委員会より案内があり、ボーイスカウト千葉県連盟も加入することが了承された。

II. 報告事項

1. 平成 28 年 3 月末登録状況
 - 1) 平成 28 年 3 月末登録状況
 - ・28/03 末 6,998 人/110 団 前年同月比 --536 人、前年度末比 -536 人
 - 2) 平成 28 年 4 月初期登録状況
 - ・28/04 初期 6,089 人/109 団 前年同月比 -585 人、前年度末比 -909 人(スカウト数 -613 人)
2. 企画会議報告
 - 1) スカウト章認証紹介・・・企画会議承認分
 - ・菊章:高岸 宥希(浦安 1)、清水 美樹(松戸 8)、荻本 沙耶(千葉 13)、小池 真央(千葉 13)、丹羽 野 周平(千葉 14)、木戸秋 波留紀(銚子 3)、古作 歩実(船橋 9)、ランカスター 海(松戸 5)、大野 優 菜(松戸 5)
 - ・隼章:片寄 颯人(八千代 2)、生野 広大(千葉 13)
 - ・富士章:関元 紅音(佐倉 3)、秦野 真希(佐倉 3)
3. 各種委員会報告
 - 1) スカウト育成委員会
 - (1) 第7回富士スカウト、隼スカウト顕彰会
 - ・3月29日(火) 10:00~12:10 青少年女性会館 富士スカウト 3人、隼スカウト 5人参加
 - ・その後、県庁にて副知事、教育長等多くの皆様から顕彰して頂いた。
 - (2) 3月21日、平成27年度ベンチャー活動発表会が開催された。
 - ・参加者:スカウト41人、指導者24人、保護者6人、合計71人
 - ・6人のスカウトが発表し、内容もプレゼンテーションの方法もよく、参加スカウトには大変好評だった。
 - 2) 安全委員会
 - (1) 平成27年度「事故・ヒヤリハット報告書」の集計状況

- ・平成 24 年度 27 件、平成 25 年度 26 件、平成 26 年度 28 件で平成 27 年度は 12 月までで 16 件。
月別発生件数は、5 年間合計では 8 月が 38 件で一番多い。

3) 指導者養成委員会

- ・平成 28 年度ウッドバッジ研修所VS課程千葉第 19 期については、参加申し込みが所定の人数に達せず、中止する。

4) 20MCC 実行委員会

(1) 第 20 回記念千葉県キャンポリー現地隊長集会・下見実施報告

- ・3 月 27 日現地隊長集会 集会 13:00~14:30 現地確認 14:30~15:30 ・隊長集会 82 人(参加隊長 30 人、県連盟コミッショナー及び実行委員 46 人、理事 6 人)
- ・各部より運営の基本的な考え方と方法について説明があった。

(2) 20MCC 実行委員および運営委員の追加募集について

- ・各地区からローバースカウトを含む概ね 35 歳以下の若い指導者に参画いただきたく、地区委員長と地区コミッショナーより各地区 4 人を推薦頂く。

5) 12NA 実行委員会

(1) 結隊式報告

- ・3 月 27 日 松戸市ふれあい 22 県連盟理事 3 人 出席 ・壮行会を 7 月 10 日に予定している。

(2) 参加者 4 月 2 日現在 参加申込合計 53 人

- ・スカウト 12 人、指導者 13 人 合計 25 人 ・本部スタッフ・チャレンジクルー 28 人
- ・確定申込:5 月 15 日までで最終申し込み受付の予定。

4. コミッショナーグループ報告

1) 日本連盟表彰・千葉県連盟表彰候補者について

- ・かっこう章 5 人、褒状 6 人、県連特別有功章 10 人、県連有功章 32 人が発表された。

2) 平成 27 年度千葉県連盟団委員長集会報告

- ・テーマ「情熱を捨てない」—めげない あきらめない やり続ける—
- ・2 月 28 日 10 時~16 時 青少年女性会館 ・理事 8 人、県連盟正副コミッショナー 3 人、地区正副コミッショナー 9 人、参加者 101 人 合計 121 人
- ・基調講演:日本ボーイスカウト東京連盟理事長 小町國市氏 演題:「情熱をもつ」
- ・グループ討議:「隊と年代の特性について」「小集団の活用」「団・隊の協力関係」をグループ討議し、テーマ「熱意」をテーマにパネルディスカッションをしてまとめとした。

3) 平成 27 年度千葉県連盟隊指導者研究集会報告

- ・3 月 6 日 10 時~16 時 青少年女性会館 ・県連盟理事 3 人、県連盟正副コミッショナー 3 人、団担当、地区正副コミッショナー 50 人、隊指導者 174 人 計 230 人参加
- ・セーフ・フロム・ハームの導入でスカウト運動はどう変わるか、指導者は何をしなければならないかなどについて研究した。

4) 平成 27 年度トレーニングチーム研究集会報告

- ・3 月 12 日(土)~13 日(日) クリアビューゴルフクラブ&ホテル ・参加者 59 人/欠席者 15 人
- ・(1) 訓練の質を向上させるために、「§ 1 セッション運営要項について」と「§ 5 評価について」の研究を実施。(2)安全促進拡大フォーラムについて学習した。(3)新制服への移行に伴い、基本動作(特に敬礼、祝声)の確認。(4)ボーイスカウト救急法(基礎コース)・技能章コースのハンドブック改定に伴い、新しいハンドブックの配布と説明を受けた。
- ・研究集会に出席することの意義についても説明したが、全日程出席することの意義についても全員が認識できるようにしなければならないと新たな課題を持つと同時に、チーム員が更に自己研鑽を深めて、提供するトレーニングの質が上がることを期待している。

以上